

OS10.15 環境で新規にドライバをインストールする方法

該当機種

SR4-TB2、SR4-TB3、SR8-TB2、SR8-TB3、DR8-TB2、DR8-TB3

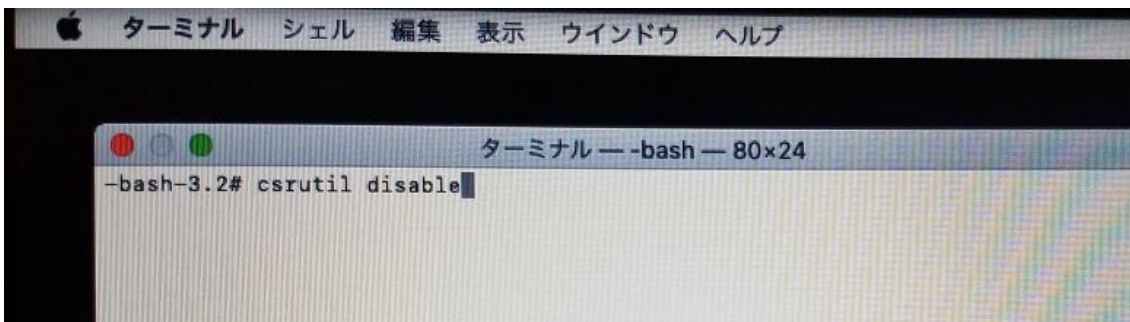
上記シリーズをご利用時、クリーンインストールされた OS10.15 以降環境で本製品のドライバを新規にインストールする場合は、以下の方法で本製品のドライバをインストールしてください。

注) OS10.14 以下環境で本製品のドライバが既にインストールされた状態で OS10.15 にアップデートされた場合は、既にドライバのインストールは完了しておりますので、新たにドライバのインストールの必要はございません。

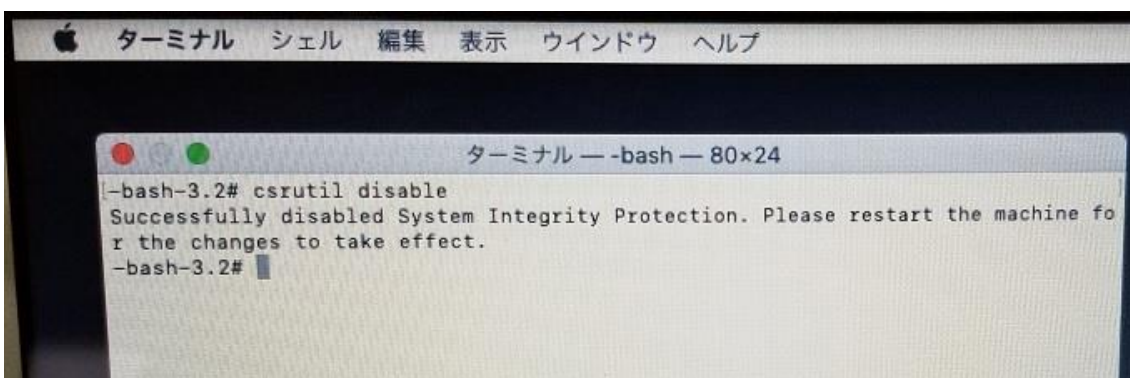
- ① OS10.15 環境で新規にドライバをインストールする場合は、MacOS の System Integrity Protection (SIP) を無効にしてからインストールをする必要があります。
- ② Mac の電源ボタンを押すと共に、(command) + R キーを押し、Recovery HD (リカバリーハードディスク) の OS を起動します。下記の画面の様に「ユーティリティ」メニューより、ターミナルを選択します。



- ③ ターミナル起動後、`csrutil disable` と入力し、リターンキーを押します。



④ 下記画面の様に、"Successfully disabled System Integrity Protection. Please restart the machine for the change to take effect."と表示されていれば、System Integrity Protection (SIP) は無効化されています。



⑤ Mac を再起動することにより、System Integrity Protection (SIP) の無効化が反映されます。

⑥ OS 起動後、本製品のドライバをインストールします。

⑦ ドライバのインストールが完了したら System Integrity Protection (SIP) を再度有効にします。

MacOS の System Integrity Protection (SIP) を再度有効にする場合は、②の手順で `csrutil enable` と入力しリターンキーを押してから Mac を再起動します。System Integrity Protection (SIP) が有効になっているのか、無効になっているのかを確認する場合は、2. の手順で `csrutil status` と入力しリターンキーを押します。

System Integrity Protection (SIP) が有効の場合、`csrutil status` コマンドの下の行に System Integrity Protection status : enabled. と表示されます。

System Integrity Protection (SIP) が無効の場合、`csrutil status` コマンドの下の行に System Integrity Protection status : disabled (Apple Internal). と表示されます。